

令和5年度 管理運営評価シート

施設名	淡路夢舞台国際会議場	現指定管理期間	令和3年度～5年度(3年間)
指定管理者	株式会社夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	安全で快適な利用を確保するため、日常清掃及び定期清掃を行う	◎	◎
	設備保守管理	施設を安全かつ安心して利用できるよう、予防保全に努め、建築物や設備等の不具合を発見した際には、速やかに県に報告を行う	◎	◎
	植栽管理	敷地内の除草・剪定、樹木管理等を行い、美観を保つ	◎	◎
	警備	事故、盗難等の発生を警戒・防止するとともに、利用者の安全を守るための保安警備業務を適切に行う	◎	◎
	小規模修繕	日常の保守点検に基づき、必要に応じて実施する	◎	◎
		通常清掃業務による美観維持はもとより、必要に応じて消毒液の設置、除菌を行い、安心して利用できる環境を提供した。 ・トイレ 2回/日 ・通路階段等 1回/日 ・各会議室 適宜 ・屋外茶室等 1回/日		
		定期保守点検等により施設の予防保全に努めるとともに、建築物や設備等の不具合がないかを日々の業務において確認した。 日常点検 1回/日 定期点検 ・電気設備 2回以上/年 ・空調設備 2回/年 ・消防設備 2回/年 ・昇降設備 1回/月		
		定期的な植栽管理の実施により、自然豊かなリゾート地にふさわしい美観を維持した。 ・機械等除草 4回/年 ・樹木剪定 1回/年		
		24時間常駐警備員によるモニター及び巡回による監視を行い、利用者の安心安全の確保に努めた。		
		施設の管理・運営上、支障となる箇所は迅速に修理・補修等を行うとともに、機械の経年劣化等については、計画的な修繕を実施した。		

	法定点検の実施	法令に定められた各種点検を実施する。	各種法令により義務付けられた点検を計画どおり適切に実施した。 ・空調設備 1回/年 ・消防設備 1回/年 ・昇降設備 1回/年 ・水質検査 1回/年	◎	◎																																				
運営業務	開館日・開館時間等	休館日(12月29日から1月3日まで)を除く、9時から21時まで	会議のスケジュールに合わせた時間外の利用にも柔軟に対応し、利便性の向上による利用促進を図った。	◎	◎																																				
	公共性・公平性の確保	利便性の向上	ホームページのデザインを一新し、利用者が必要な情報を迅速に見つけられるような配慮を行った。また、より柔軟性の高いコンテンツ管理システムを導入し、情報の更新や追加がスムーズに行える環境を整えた。	◎	◎																																				
	各種事業・プログラムの実施状況	利用促進、施設広報の実施	新規の会議主催者やリピート利用者へのアプローチを継続し、コロナ禍での対応において好評を得た施設環境(映像・通信・空調機材)のPRに努めた。さらに、「淡路花の茶会」を主催し、多様な利用者に向けて施設の知名度向上に努めた。	◎	◎																																				
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	利用者に対して、施設・備品・運営に関する要望等のヒアリング並びにアンケートを実施	施設利用後のフォローアップを実施し、継続利用を促進した。また、アンケートの結果も高い満足度を示し、収集した情報を部内で共有し、問題点を改善するなど、日々、顧客満足度の向上に努めた。	◎	◎																																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答数 98</th> <th>清掃</th> <th>施設</th> <th>備品</th> <th>料金</th> <th>職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に満足</td> <td>86.7%</td> <td>82.7%</td> <td>66.7%</td> <td>50.0%</td> <td>87.8%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>13.3%</td> <td>15.3%</td> <td>24.0%</td> <td>30.6%</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>0.0%</td> <td>2.0%</td> <td>9.4%</td> <td>19.4%</td> <td>2.0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>1.7%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>非常に不満</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答数 98	清掃	施設	備品	料金	職員	非常に満足	86.7%	82.7%	66.7%	50.0%	87.8%	満足	13.3%	15.3%	24.0%	30.6%	10.2%	普通	0.0%	2.0%	9.4%	19.4%	2.0%	不満	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	非常に不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
回答数 98	清掃	施設	備品	料金	職員																																				
非常に満足	86.7%	82.7%	66.7%	50.0%	87.8%																																				
満足	13.3%	15.3%	24.0%	30.6%	10.2%																																				
普通	0.0%	2.0%	9.4%	19.4%	2.0%																																				
不満	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%																																				
非常に不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																				

利用状況	利用者数(実数)	国際会議 16 件、4,000 人 国内会議 334 件、21,000 人 合計 350 件、25,000 人 【参考(コロナ前)】 [H30 年度: 385 件、25,025 人]	国際会議 22 件、2,753 人 国内会議 329 件、13,786 人 合計 351 件、16,539 人 コロナ起因による規模縮小傾向のため、利用者数は減となったが、継続的な誘致活動により、会議件数はコロナ前の9割を維持している。	○	○
	施設稼働率	メインホール稼働率 30% [前年度: 22.4%] 【参考(コロナ前)】 [H30 年度: 27.2%]	メインホール稼働率 18.2%。 コロナ後、会議開催規模の縮小傾向が続き、収容数の多いメインホールの稼働率は低下した。	△	△
収支状況	収支計画と実績	収支計画と実績の比較 収入予算: 234,479 千円 支出予算: 234,479 千円	収入実績: 233,555 千円(対予算▲924 千円) 支出実績: 233,555 千円(対予算▲924 千円)	◎	◎
	経費節減に向けた取組	職員のコスト意識のもと、省エネ対策等の経費節減に努める	利用者への配慮を念頭に置きつつ、共用スペースの照明区分を細分化し、定期的な点消灯や春秋の空調機停止などを行うことで、光熱費の削減に努めた。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	各種トラブル、苦情には迅速に対応し、利用者の要望には適切に管理運営に反映させるよう努める	誘致担当と会議支援担当が連携し、利用者の苦情や要望について情報を共有し、迅速に対応することで、運営体制の向上に努めた。	◎	◎
	危機管理体制の確保	夢舞台施設全体の消防計画を作成し、定期的に消防訓練を実施する。	夢舞台施設全体の統括防火防災管理体制のもと、国際会議場地区隊を組織し、防災委員会による協議他、各種訓練を実施した。 ・防災訓練 1 回/年 ・防火訓練 1 回/年	◎	◎
	県・関係機関との連携	県、関係機関と適宜連絡調整を行い、円滑な運営を図る	施設の利用促進や不具合箇所等の修繕、その他運営上の問題点について適宜調整協議を行い、円滑な運営に努めた。	◎	◎
	業務の再委託の状況	業務の再委託の状況	設備維持管理に必要な定期保守点検、清掃、警備、植栽管理等については、再委託を実施した。	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

新型コロナウイルス感染症の5類移行による会議開催の回復傾向の中、継続的な誘致活動により新規及び再開された会議の獲得を進め、施設面や運営面での以下の取組により収入の確保に努めた。

【施設面】

日常の適切な維持管理、設備改善を行い、国際会議場としての信頼性を高める安心安全な施設管理を実現した。

【運営面】

コロナ禍での対応で高い評価を得てきた、高性能空調(HEPA フィルター(病院の手術室の空調設備にも使用されているフィルター)による高い空気清浄能力を有する。)や最新の映像・高速通信設備と経験を積んだ会議場スタッフの適切かつ柔軟な運営により、「コールドスプリングハーバー会議(2回開催)」等の国際会議、大型の「日本頭蓋顎顔面外科学会」を含む学術会議、近隣企業の研修など、さまざまな案件が開催された。また自主企画として「淡路花の茶会」を開催し、幅広く会議場の魅力を発信し知名度を向上させた。

今後も、兵庫情報ハイウェイによる高速通信設備や高性能空調等、当会議場設備の強みを活かし、顧客ごとのニーズに合わせた最適な提案とサービスを提供し、リゾート地の特性を生かした国際会議をはじめ、学術会議や企業研修など、多様な MICE 案件の誘致に努め、また大阪・関西万博開催の動向に注目しつつ、大阪湾ベイエリアにおける国際交流拠点として、利用拡大と収益の安定化を図る。

令和5年度 総合評価シート

評価者:企業庁総務課

施設名	淡路夢舞台国際会議場	現指定管理期間	令和3年度～5年度(3年間)
指定管理者	株式会社夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- 新型コロナウイルスの影響があったときから、会議開催規模の縮小傾向は続いており、特に収容数の多いメインホールの稼働率は、目標 30%に対して実績が 18.2%と苦戦が強いられている。
- しかし、施設利用後のフォローアップによる継続利用の促進や新規案件への積極的なアプローチにより、コロナ禍で停止していた定例利用の再開、学会や国際会議などの誘致に成功していることは評価できる。
- ノウハウ豊富な職員の柔軟で細やかなサービスの提供により、顧客満足度は好調を維持している。株式会社夢舞台が持つ他施設との一元運営体制とあわせ、効率的で質の高い管理運営が実施されているものと評価する。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- 大阪・関西万博の開催を間近に控え、ホテル等夢舞台他施設と連携し、リゾート立地の特性を生かした MICE 案件、国際会議、大規模会議の誘致に引き続き努められたい。
- 利用者から好評を得ている感染症対策を今後も徹底するとともに、安心・安全かつ快適な施設の提供とサービスの向上に努められたい。
- 燃料費の高騰は今後も続くことが予想されることから、光熱費と CO2 排出の抑制のためにも、更なる省エネ対策に努められたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	A	S	—	—

総合評価指標(管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする)

S	◎が 80%超である
A	◎が 60%超 80%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
B	◎が 60%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
C	△と×の合計が 20%超 40%以下である
D	△と×の合計が 40%超である